

八尾の教育の現在地



いま社会で起きていること

● 人口減少や少子・高齢化、グローバル化の進展

地域での多世代による交流が希薄化し、児童生徒数も減少

社会のあらゆる分野でのつながりが、国境を越えて地球規模に拡大

● デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展

SNSの普及により交流形態が変化し、学校ではICTを活用した学びを展開

● ウェルビーイングの考え方を重視

経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて持続的な幸福や生きがいをつめる「ウェルビーイング」の考え方を重視

● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

人と人との交流が減少し、ICTの活用により交流方法も変化

解決していくべき課題

● 課題を抱える子どもたちへの対応

いじめ・不登校やヤングケアラー、虐待などの課題を抱える子どもたちへの支援が必要

● 施設の老朽化への対応

建設後、50年を経過した学校の建物が多く、安全で快適な施設整備が急務

● 部活動の改革

少子化に伴う生徒数の減少や指導者の確保の難しさなどから、これまでと同様の部活動の継続が困難

● 学校における働き方改革の推進

児童生徒が抱える課題の多様化に伴う生活指導や保護者対応の増加により、教職員の業務量が増大



八尾市がめざすウェルビーイング

- ウェルビーイングとは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く地域や社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることをいいます。
- 八尾の教育では、市民一人ひとりが自分の可能性を信じ、夢に向かって自らの人生と、八尾の未来を切り拓いていくと同時に、個人と社会のウェルビーイングが向上していくことをめざします。
- このために、生涯にわたる教育が果たす役割は大きく、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの最善の利益を考え、社会全体で未来を担う子どもの成長を支えていきます。
- そして、持続可能な生涯学習社会となるよう、「学びの循環」「知の循環」を促進し、学んだことを地域で実践・活躍できる環境づくりを進めていきます。

